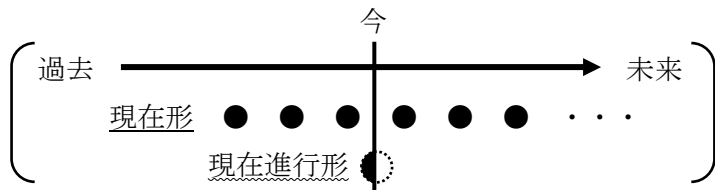


頻出ポイント ① 進行形（基本用法）

★「一時性」を強調する場合は進行形を用いる。

1. 現在形と現在進行形

- 現在形 = 「日常」の出来事
- 現在進行形 = 現在の「一時性」を強調



例① : He goes to church. 〈日常〉 = いつも通っている

He is going to church. 〈一時性〉 = 今教会に向かって歩いている真っ最中

例② : He is gentle. 〈日常〉 = いつもやさしい

He is being gentle today. 〈一時性〉 = 今日だけやさしい

<例題 1> 「彼は東京在住だが、今は大阪に住んでいる」(英訳)

He _____

2. 過去・未来進行形

- 過去進行形 [was・were+~ing] 「(昔) ~している途中だった」(過去のある時点の一時性を強調)
- 未来進行形 [will+be+~ing] 「(未来に) ~している途中だろう」(未来のある時点の一時性を強調)

例③ : She was taking a shower when I called her. 「彼女は電話したときシャワーを浴びていた」

He will be lying on a beach at this time tomorrow. 「彼は明日の今頃ビーチで横になっている」

<例題 2> 誤りを訂正しなさい。

A big tree was standing at the gate, and a girl was standing in its shade.

誤 : _____ → 正 : _____

3. 進行形にしない動詞

一部の動詞は「一時性」を強調していても進行形にしない。

例④ : Plants need water to grow. 「植物は成長するために水が必要だ」〈日常〉

I need your help. 「私は君の助けが必要なんだ」〈一時性〉 ≠ [×] am needing

- 「所有・所属」: possess / own / belong / consist / contain など
- 「認識・好み」: know / like / love / remember / forget / need / want / understand など

<例題 3> 誤りを訂正しなさい。

Are you still remembering me?

誤 : _____ → 正 : _____

頻出ポイント ② 進行形（例外的用法）

★ 以下の2パターンは進行形だが意外な意味になる。

1. 瞬間的な動作を表す動詞 [die/drown/arrive/stop など] の進行形 = 「~しかけている」

例⑤ : The old tree is dying. 「その古い木は枯れかけている」 ≠ まだ枯れていない状態

cf. The old tree is dead. 「その古い木は枯れている」 ≠ もう枯れた状態

2. always+進行形 = 「~してばかりいる」… 話し手の感情（通例, いらだち）が含まれる

例⑥ : She is always complaining about her husband. 「彼女はいつも夫の文句ばかり言っている」

cf. She always complains about her husband. 「彼女はいつも夫の文句を言う」

<例題 4> 下線部には誰のどのような気持ちが表れているか。最も適当なものを選べ。

My wife is always changing her mind about everything, minute to minute.

- ア 妻の柔軟なものの考え方に対する夫の驚き
- イ 妻の生活態度に対する夫のいらだち
- ウ 夫の信念に共感できない妻の不満
- エ 夫を理解できない妻の困惑

頻出ポイント ③ 未来を表す表現

★ 英語では未来の内容を助動詞 [will など] を用いるか現在（進行）形で表す。

1. 予測「～だろう」

- 根拠（データや証拠）が { ない予測 → will+原形
ある予測 → be going to+原形

例⑦：「きっと良くなるよ」 = { You will get better. ☞ 根拠はないけど自信满满
You are going to get better. ☞ 根拠があり客観的・科学的

<例題5> Look at that cloud! It (will / is going to) rain soon. (適語)

2. 予定「～予定・つもりだ」

- { 今決まった予定（その場の思いつき） → will+原形 (通例, Sは一人称 [I・we])
すでに決まっている予定 → { 準備中（だが変更もありえる） → be going to+原形
準備万全（あとはやるだけ） → 現在進行形

例⑧：「京都に行く予定です」 = { I will visit Kyoto. ☞ 今この瞬間思いついた
I am going to visit Kyoto. ☞ 行く予定だが、今後変更もありえる
I am visiting Kyoto. ☞ 準備万全、あとは行くだけ

※ 公的なタイムテーブル（日常の繰り返し） → 現在形

例⑨：「明日は日曜日です」（カレンダーの日程） = Tomorrow is Sunday.

「この電車は5時に東京駅に到着します」（電車のダイヤ） = This train arrives at Tokyo at five.

<例題6> 1は下線部の英訳として正しいものを選びなさい。2は英訳しなさい。

1. 「なんにする?」「そうだな。じゃあ、僕はビールにするよ」

(a) I have beer. (b) I'll have beer. (c) I'm going to have beer. (d) I'm having beer.

2. 「この店は7時半に開店します」

This store _____

頻出ポイント ④ 「時・条件」の副詞節

★ 「時・条件」の副詞節内は、未来の内容でも現在時制を用いる。

例⑩：Come back before it rains (×will rain). 「雨が降る前に帰って来なさい」

1. 「時・条件」の副詞節の代表例

「時」の副詞節 □ when SV 「～ときに」 □ before SV 「～前に」 □ until SV 「～まで（ずっと）」など
「条件」の副詞節 □ if SV 「もし～なら」 □ unless SV 「～する場合を除いて」など

2. 現在完了形を使ってもよい。その場合は、「100%やりきった」ことを表す。

例⑪：Lend me the book when you have read it. 「読み終わったらその本を貸してください」

<例題7> 誤りを1つ選べ。

Do not say (a)you are ready (b)to give up (c)until you will have considered (d)all of the possible results of your decision.

3. when と if は名詞節を作る場合もある。名詞節の場合は、(未来の) will を使ってよい。

- { □ when SV ①「～ときに」(副詞節) ②「いつ～か」(名詞節)
□ if SV ①「もし～なら」(副詞節) ②「～かどうか」(名詞節) }

日本語訳で区別 OK。

例⑫：I'll call you when he comes. 「彼が来たときに連絡するよ」(when = 「～ときに」)

I don't know when he will come. 「彼がいつ来るかわかりません」(when = 「いつ～か」)

<例題8> 適語を選べ。

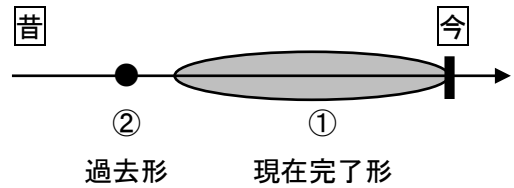
I wonder if he () back tonight.

(a) is (b) will be (c) had been (d) were

頻出ポイント ⑤ 現在完了形 vs 過去形

★ 現在完了形と過去形は、「今」とのつながりの有無で区別する。

- ① 現在完了形 = 今とつながりあり
 ② 過去形 = 今とつながりなし



※ 訳し方 (× 3) … 日本語訳は現在完了形も過去形も同じ。訳で区別しようとするしないこと。

1. 「～したところだ・してしまった」〈完了・結果〉

例⑬: 「鍵をなくしてしまった」

I have lost my key. ⇨ 今もない

I lost my key. ⇨ 今は不明 (おそらくもう見つかった)

2. 「～したことがある」〈経験〉

例⑭: 「ピカソ展を見に行きましたか」

Have you visited the Picasso exhibition? ⇨ 今も開催中

Did you visit the Picasso exhibition? ⇨ 今は不明 (おそらくもう終了している)

3. 「～し続ける」〈継続〉

例⑮: 「彼は中国に3年住んでいました」

He has lived in China for three years. ⇨ 今も中国に住んでいる

He lived in China for three years. ⇨ 今は不明 (おそらく中国に住んでいない)

<例題 9> 日本語に合うように適語を選べ。

「冷やし中華始めました」 = We (started / have started) serving cold Chinese noodles.

※ 文中に過去しか表さない副詞 (句・節)がある場合、現在完了形は使えない。

- [yesterday 「昨日」 ~ ago 「～前」 last ~ 「この前の～」 just now 「つい先ほど」
 when S was ~ 「Sが～の頃」 When ~ ? 「いつ～したの」 など]

例⑯: 「彼は昨日メアリーに会った」

[×] He has seen Mary yesterday. → [○] He saw Mary yesterday.

<例題 10> 「私は学生時代に2回台湾 (Taiwan) に行ったことがある」 (英訳)

頻出ポイント ⑥ 完了形の表し方

★ 完了形は意味によって2種類の書き方がある。

- ① 「～したところだ」〈完了・結果〉 } = have + Vp.p.
 ② 「～したことがある」〈経験〉 }
 ③ 「～し続ける」〈継続〉 = have + been + Ving

Writing・Speaking で注意
 ③ 〈継続〉だけ書き方が違う!

例⑰: 「彼はちょうどテニスをしたところだ」〈完了・結果〉 = He has just played tennis.

「彼は2回テニスをしたことがある」〈経験〉 = He has played tennis twice.

「彼は2時間テニスをしている」〈継続〉 = He has been playing tennis for two hours.

※ 進行形にしない動詞 [belong / know / love など] は③〈継続〉の意味でも have + Vp.p.を使う。

例⑱: 「彼は2年間テニス部に所属している」 = He has belonged to the tennis club for two years.

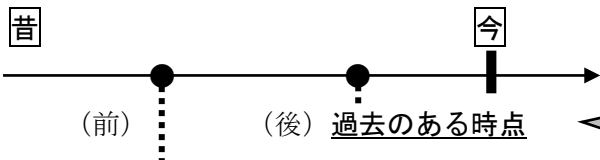
<例題 11> 適語を選べ。

Tom and Mary are good friends. They () each other since they were children.

- (a) are knowing (b) are known (c) have been knowing (d) have known

頻出ポイント ⑦ 過去完了形

★ 過去のある時点より前の出来事には過去完了形を用いる。



※ 過去のある時点とは？

- ① 過去の副詞 (句・節) … when I arrived など
- ② 過去形の主節動詞 … I realized that ~ など

過去完了形 [had+Vp.p.] = 過去のある時点より前の出来事

例⑱ : When I arrived at the station, the train had left. 「駅に到着したとき、電車は出発していた」
 (後) (前)

例⑳ : I realized that I had left my wallet at home. 「家に財布を忘れたことに気づいた」
 (後) (前)

1. <継続> の意味の場合は had been Ving (進行形にしない動詞の場合は had Vp.p.) を用いる。

例㉑ : When he came home, his wife had been playing the video game for three hours.
 (後) (前) 「彼が帰ったとき、妻は3時間ゲームをやっていた」

2. 等位接続詞 [and/but/so など] の前後で、過去の出来事を順番通りに並べるときはすべて過去形。

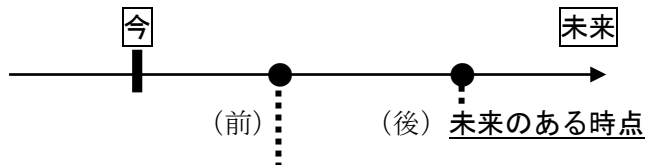
例㉒ : In the morning, I woke up, brushed my teeth, ate breakfast, and went to school.
 「その朝、私は起きて、歯を磨いて、朝食をとって、学校に行った」

<例題 12> 適語を選べ。

1. I () in New York for three years when I got married. 「結婚した時 NY に3年住んでいた」
 (a) had lived (b) have lived (c) lived (d) was living
2. I () in New York for three years when I was a child. 「子供の頃 NY に3年住んでいた」
 (a) had lived (b) have lived (c) lived (d) was living

頻出ポイント ⑧ 未来完了形

★ 未来のある時点より前の出来事には未来完了形を用いる。



※ 未来のある時点とは？

- = 未来の副詞 (句・節)
 … tomorrow / when he comes など

未来完了形 [will+have+Vp.p.] = 未来のある時点より前の出来事

例㉓ : By the time she arrives, the game will have ended.
 (後) (前) 「彼女が到着するまでに試合は終わっているだろう」

※ <継続> の意味の場合は will have been Ving (進行形にしない動詞の場合は will have Vp.p.) を用いる。

例㉔ : When he retires, he will have been teaching for forty years.
 (後) (前) 「退職するとき彼は40年教鞭をとったことになるであろう」

I will have known him for ten years next year.
 (前) (後) 「私は来年で彼と知り合って10年になります」

<例題 13> 英訳せよ。

「私は来月でこの会社に勤めて1年になります」

I _____